

## オオタカの子育て観察日記・2017

オオタカ vs カラスの攻防 23 区内の緑地で

3月3日 いつもの散歩道で友人のK氏が、オオタカ成鳥2羽がいると教えてくれた。キイー、キイーと鳴きかわしている。この時期2羽でということは、ここで繁殖するのだろうか。期待が膨らむとともに、カラスが多いので大丈夫だろうかと不安も覚えた。

3月6日 ハンガーを積み重ねたハシブトガラスの巣跡に小枝を運んでいる。交尾2回。その後も交尾を繰り返すのを見る。

3月24日 巣作りもかなり進み巣の厚みも増し、ハンガーが目立たなくなってきた。

4月6日 巣の近くでカラス2羽に追われた雄が、獲物を爪に掛けたまま対岸の桜の横枝にとまりキー・キッ・キッと警戒声を発している。



繁殖中のオオタカの雌

4月16日 交尾の後、雌は巣に入ったり出たりを繰り返している。抱卵が始まったようだ。〔写真〕

5月22日 朝、雌のゆっくりしたキイー・キイーという鳴き声とかすかに小さなキィという鳴き声が聞こえた。無事孵化したようだ。何羽巣立つか期待に胸が膨らむ。

5月24日 朝、途中で出会った知人が“カラスが押し寄せている!!”と教えてくれた。巣の上や近くの横枝に20羽以上がギャーギャー興奮して騒いでいた。雌は巣の中でしきりに警戒声を発しているが雄は戻ってこない。そうしている間にカラスの数はどんどん増え、巣の近くで執拗に威嚇する。雌はこらえきれずに巣から出てカラスを追い払うこと2回、この間巣は無事だったが3回目に雌が巣から出た直後、5～6羽が一斉に巣に襲いかかり、白い塊を吐き出して出るのが見えた。(後で巣の下に2羽の雛が落下していたのを発見)

雌はそれでも巣に戻り、その直後雄が巣に戻り獲物を置いて巣の近くにとどまった。雌は巣の中で餌を食べるとゆっくりと座り直した。雄が近くに帰ってきたのでその後は騒ぐだけで巣への攻撃は見られなかった。まだ卵が残っているのかその後も雌は巣の中で立ち上がりたり座ったりを繰り返していた。

5月25日 雄が餌を持ってきて巣を出た雌に渡す。雌は巣で餌を小さくちぎって給餌している。3卵目が孵化したと思われる。その後も給餌行動が見られ、6月12日には雛の白い身体全体がはっきりと確認できた。

6月16日 雛は巣の中で、自分で餌を食べているようだ。目の周りが白い産毛から茶色に換わってきた。

6月26日 雛は巣のかかっている枝の上の方に伝い歩きをして登っていた。この後6月29日まで毎日巣のかかった横枝や前の枝に移動している姿が見られた。

6月30日 私は見ていなかったが、雛は午前中に巣のかかっている枝から隣の枝に飛び移ったとのことで無事巣立ちを迎えた。

7月9日 幼鳥の動きは活発で、さかんに周辺を移動する。雄が巣に餌を置くと幼鳥はすぐ巣に戻って獲物を取り、巣の近くの横枝で食べ始めた。

7月24日 幼鳥の狩りの練習も始まった。カルガモを襲うが失敗。翌日には自分でキジバトも捕まえたと言った。

8月10日 今までのように親に餌を催促するような鳴き声を発しなくなったためどこにいるかを特定しづらくなってきた。早朝から夕方まで三脚を担いでうろろろしていたカメラマンもようやく姿を